

平成 31 年 月 日

赤崎（綾里）中学校 PTA 会員各位

赤崎（綾里）小学校 PTA 会員各位

赤崎・綾里地区学校統合推進協議会長 金野 律夫

赤崎（綾里）中学校 PTA 会長 ○ ○ ○ ○

赤崎（綾里）小学校 PTA 会長 ○ ○ ○ ○

赤崎（綾里）中学校と綾里（赤崎）中学校との統合に係る意向調査の実施について
（お願い）

日頃、会員の皆様におかれましては、PTA活動にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、赤崎（綾里）中学校と綾里（赤崎）中学校との統合について、これまで赤崎（綾里）、綾里（赤崎）の両地区の関係者やPTA会員の皆様などのご理解、ご協力をいただきながら協議が進められてきました。

昨年 11 月 27 日、第 2 回赤崎・綾里地区学校統合合同協議会をもって両校の統合の方式は新設統合、統合の時期は 2021 年 4 月とすることで合意が図られました。

現在は、地区公民館関係者や両中学校の校長、両地区の保育園・こども園の保護者会役員、小・中学校 PTA 役員で構成する「赤崎・綾里地区学校統合推進協議会」（以下「推進協議会」）において、統合後の校名や校歌、校章など、統合の根幹に係わる重要事項について協議を進めております。

去る 1 月 16 日に開かれた第 1 回推進協議会で、今後、協議を進めていく上で、両地区の保護者の意向把握が必要ということでまとめ、校名や校歌、校章の取扱いについて、別紙によりアンケート調査を実施することになりました。

つきましては、調査の趣旨にご理解をいただき、別紙に必要事項を記入のうえ、お子さんを通じて各学校までご提出していただきますようお願いいたします。

なお、本調査の結果を参考にしながら推進協議会で話し合っていくものであり、調査結果が、そのまま校名や校歌、校章の取扱いの方向性を決定づけるものではないことを予めご了承ください。

記

提出期限 平成 31 年〇月〇日（〇）

（回答は、1 世帯につき 1 枚とし、小・中学校の両方にお子さんがある場合は、中学校へ提出して下さい。）

赤崎（綾里）中学校と綾里（赤崎）中学校との統合に係る意向調査

以下の3つの質問にお答えください。

1 統合校の校名について、どれに賛成ですか。

新設統合の場合、新たに設定、あるいは統合予定校のうちの1校の学校名を使用することができます。

次のうちから1つ選び、番号を○で囲んでください。(3)を選んだ方は、校名案についてもお答えください。

(1) 校名を「赤崎中学校」とする

(2) 校名を「綾里中学校」とする

(3) 新しい校名にする (校名案：)

2 統合校の校歌について、どれに賛成ですか。次のうちから1つ選び、番号を○で囲んでください。

(1) 現在の赤崎中学校の校歌を、統合校の校歌にする

(2) 現在の綾里中学校の校歌を、統合校の校歌にする

(3) 新しい校歌を制作する

3 統合校の校章について、どれに賛成ですか。次のうちから1つ選び、番号を○で囲んでください。

(1) 現在の赤崎中学校の校章を、統合中学校の校章にする

(2) 現在の綾里中学校の校章を、統合中学校の校章にする

(3) 新しい校章を制作する

○調査へのご協力ありがとうございます。

両校の校歌

| | | | |
|--|--|--|---|
| <p>三 誠を求め 道たすね 学びの日々も 健やけく 夕風わたる 校庭に われらの影の 伸びるよぎ 交す腕に 歌ごえに 今日のひと日の 誇りあり</p> | <p>二 太平洋の 汐騒は 世界の国の 呼ぶ声か 太平小平の 磯に散る 飛沫に虹の 架かるとき 眼ざし遠く 眉たかく われらが胸に 希望あり</p> | <p>一 朝さやかに 氷の上の 峰を流れる 白い雲 真澄の空を 仰ぎつつ 明日の日本を 誓うとき 若さは燦と かがやきて わが学び舎に 理想あり</p> | <p>赤崎中学校校歌</p> <p>作詞 石井昌光 作曲 下総皖一</p> |
|--|--|--|---|

制定年月日 昭和 27 年 12 月 6 日
 作詞者 石井 昌光 氏
 国文学者 詩人 演劇家 宮城学院女子大学教授・学長
 (作詞当時は宮城学院短期大学助教授)
 作曲者 下総 皖一 氏
 作曲家 音楽教育家 東京藝術大学教授・音楽部長

校歌に歌い込まれた地名

氷上・・・大船渡市、陸前高田市にまたがる氷上山のこと。
 太平小平の磯・・・外口沖の大ピラ磯、長崎沖の小ピラ磯のこと。

校歌作成への思い

赤崎中学校第二代校長金野菊三郎氏が、校舎にふさわしい新生日本を築く世界に誇れる人材の育成を願って、日本一の校歌を作りたいとの強い願いで、作詞作曲者の選定に当たり、自ら依頼を進め、新築落成式典において披露発表した。

| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>三 ともつな解け船出せよ しづきあげて 未来の星を見つめて 友とゆかん 海鳴りとつらき 理想の星もつめつつ ふるさとの海山川 わが綾里中学校</p> | <p>二 白雲流れる行方 うるわしく 緑の山並みめぐり わが学舎 丘に上れば 黒潮豊かにうねり わが友がき兄弟よ わが綾里中学校</p> | <p>一 明けゆく沖面の彼方 光満ちて 紺碧の海きららに 海鳥舞う 潮騒はるかに 輝く一筋の道 希望に映ゆる我等が わが綾里中学校</p> | <p>綾里中学校校歌</p> <p>作詞作曲/中島 司 NHK東京放送合唱団</p> |
|---|--|---|--|

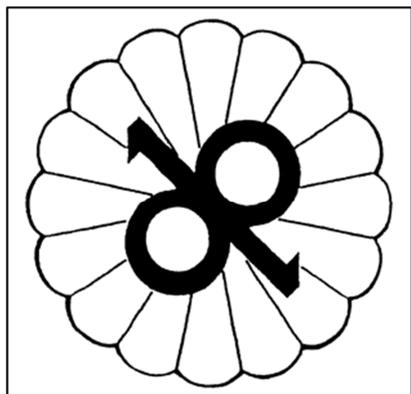
制定年月日 昭和 50 年 11 月 21 日
 制定の経緯 昭和 22 年、開校したときには校歌がなかった。その後、昭和 40 年に「学校賛歌」が当時の職員によって作られ、校歌の代わりに歌われていた。
 昭和 50 年 佐藤栄 校長が、当時の PTA 会長 西風平八 氏の奥さんの兄である、中嶋司氏に校歌を依頼した。
 作詞・作曲者 中島 司 氏
 綾里出身、岩手師範学校卒 岩手県内で教員を務めた後、東京で音楽活動を行い、NHK 東京放送合唱団に入団した。

校歌作成への思い

佐藤栄 校長は、綾里の地元の様子、学校の様子を入れて、校歌の作成してほしいと依頼をした。中嶋司 氏は、実家に帰ってきたときに、綾里の風景を見て作詞、作曲を行った。同年、昭和 50 年 11 月の文化祭で、綾里中学校校歌を発表した。

両校の校章

○赤崎中学校 校章



制定年月日 昭和27年12月6日

考案者 清水建設 設計部 (校舎建築請負業者に依頼)

意味 赤崎のローマ字表示、中学校の「中」全部での構成は、「生徒の友情」、「地域の連帯」を、傾きは、「生徒の考える姿勢」を表している。胸章・襟章の花弁は、当時の地区の数である。

○綾里中学校 校章



考案者 菅野敏 (かんの はやし)

旧姓 中島、校歌作詞者の中島司 氏の兄

綾里村 教育委員

意味 背景の三角は、立石山、大森山、八ヶ森を表し、その中に、波を描き、さらにその中に、飛翔する白鷗をデザインとして取り入れたと言われている。